

学校の様子（1月18日 2年生 社長のなり方講座）

1月18日に2学年では、東京都教育委員会の社会的・職業的自立支援プログラム事業の一つである「社長のなり方講座」（NPO法人「東京学芸大こども未来研究所」）を行いました。

企業の経営層の方々にお越しいただき、社会を渡る術や、社会の現実（失敗や楽しさ）を、講師それぞれの言葉で、生徒たちに語っていただきました。

会社の設立は簡単でも、持続することは非常に難しく、9割の会社が10年以内に倒産していること等、講師ご本人の経験も交えながらのお話がありました。加えて、「どうすれば儲けることができるのか、それは人のニーズに合わせた商品を扱うことであり、その見極めが難しいこと。」また、「人との繋がりが大切で、今、同じ教室にいる仲間も、それぞれの強みを考えると、今後の自分の人生にとってかけがえのない存在であり、ここで出会えたこともある意味奇跡であること。」などの話があり、生徒たちは、引き込まれるように、話に聞き入っていました。



◆生徒の感想（抜粋）◆

- ・自分は失敗を恐れていて、何にも挑戦せずに逃げているだけだったけど、今回の話で色んな事に挑戦して失敗しようと思います。
- ・人に応援されることの大切さ。その為にどうすればいいかなど、今後の人生の役に立つ知識を学べた。幸せを感じる事が大事とおっしゃっていてとても深い話だと思った。自分の悪いところを直すと長所になるそうなので、努力して直す！
- ・社長へのなり方などを聞いてイメージがすごく変わりました。将来社長になるのもいいなと思いました。
- ・今日のお話では、人として大切なことを色々と学びました。“自分は関係ない”と思わずに、あつくなって興味を持って取り組むというのは何事においても大切だと思いました。
- ・私もよく緊張するタイプなので話がとても分かりやすかったです。人はイメージに左右される生き物だという言葉が頭に残りました。成功するイメージをもって頑張ろうと思いました。
- ・私の中で社長という存在は、“勝ち組”のようなあまり良いイメージはありませんでした。講師の方は20年以上まじめに働き続け、挫折を経験して・・・という人生を経て今の「社長」という場所において、カッコいいと思いました。自分の心の中で人のせいにしたことは何回もありますが、大人になるために、自分自身になりたいものになるために成長していかなければいけないのだと改めて思うことができました。
- ・自分の為だけに働くのではなく、「だれか」のために行動できることが大切なんだと思いました。何かをしてもらったら必ず「ありがとう」を伝えるように心がけ、何を必要としているかを考えられる人間になりたいです。
- ・何かできなかったことがあった時、自分にマイナスな言葉をかけていたけど、これからはもっと優しい言葉をかけようと思った。自分に期待しても無駄だと思っていたけど、それは逆なのだを知ることができた。今、実際に目標があるから、今回聞いた話を参考にしたいと思う。
- ・仕事＝ありがとうという考えなどなかったのが、初めて知ることができて良かったです。「ありがとう」が、お金になって後で返ってくると知り、仕事もたくさん「ありがとう」を言われるようにしたいです。